

沼津市下水道ビジョン2025-2034(案)に関する意見募集の結果について(意見の内容と市の考え方)

○パブリックコメントの実施状況

- ・実施時期: 令和6年12月23日(月)～令和7年1月24日(金)
- ・提出者数: 1名
- ・意見数: 46件

沼津市下水道ビジョン2025-2034(案)パブリックコメント

No.	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
1	目次	目次中、「第4章 3. 進行管理」(44ページ)の次が、「参考 1. 用語の解説」(50ページ)となっていますが、本論中では、この間に、アクションプログラムを加工したものが2ページ、下水道整備予定箇所図及び総合地震対策事業実施予定箇所図が各1ページの、計4ページの掲載(ページ番号の付番なし)があります。この4ページ分(3種類)についても、目次に掲載した上で、本論中にページ番号を付番したほうがいいのではないのでしょうか。	3種類とも目次に掲載し、ページ番号を付番します。	有
2	12	本文中 1番下の行に「西部及び大平には低湿な平地が広く分布しています」とありますが、例えば他県の人が見た場合に、「西部」はともかく「大平」は何なのかかわからないと思います。そこで、「西部地区及び大平地区には」としてはいかがでしょうか。	「西部地区及び大平地区には」に修正します。	有
3	14	①本文中 2行目に「最初に1967(昭和42)年に沼津駅を中心とする<以下省略>」とあります。間違いではありませんが、「に」が近接して使用されているため、少しくどい表現に感じられます。そこで、例えば、「最初に」を「まず」に置き換えて、「まず1967(昭和42)年に」としてはいかがでしょうか。 ②整備率表中 整備済区域の面積・人口の時点の2023(令和5)年度末に対し、全体計画区域の時点は2030(令和12)年度となっています。「年度」だけでは当該年度中のいつの時点か分からないので、全体計画区域も「年度末」時点の数値であるならば、2030(令和12)年度末と記載すべきと考えます。	①「まず1967(昭和42)年に」に修正します。 ②全体計画に記載されている表現を踏襲しているため、原案のとおりとします。	有

4	15	<p>①本文 1番目の段落中「本市が管理している下水処理施設は、中部浄化プラント、＜中略＞井田浄化センターを管理しています。」とあります。主語の中で「管理している」と言いながら、述語でも「管理しています」と重複した表現となっています。そこで、述語部分を「を管理しています」から「があります」としてはいかががでしょうか。</p> <p>②本文 2番目の段落中「西部処理区及び他2市2町の汚水を処理する施設として、狩野川西部浄化センターを静岡県が管理しています。」とあります。間違いではありませんが、下線部の表記方法を少し変えて、「西部処理区及び他2市2町の汚水を処理する施設として狩野川西部浄化センターがあり、静岡県が管理しています。」としてはいかががでしょうか。</p> <p>③「処理施設一覧」の表中、一番右側の項目「現有処理能力」に係る数値が「中央揃え」で記載されているため見づらいので、右端の桁をそろえたほうが良いと思います。</p>	<p>①「があります。」に修正します。</p> <p>②「施設として狩野川西部浄化センターがあり、静岡県が管理しています。」に修正します。</p> <p>③桁を揃えます。</p>	有
5	15	<p>(No.4 ③と同様)「ポンプ施設一覧」の表中、一番右側の項目「揚水量(晴天時最大)」に係る数値が「中央揃え」で記載されているため見づらいので、右端の桁をそろえたほうが良いと思います。</p>	<p>桁を揃えます。</p>	有
6	18	<p>①本文 1番目の段落中「本市では、1967(昭和42)年に中部処理区が事業認可を受けて整備が開始されました。その後、1976(昭和51)年に久連処理区において事業が開始され、内浦処理区、＜中略＞整備を進めてきました。」とあり、下線部の1・2番目は受け身の表現で、3番目は主体的な表現となっています。すべて主体的な表現で統一し、下線部の1・2番目を次のように変更してはいかががでしょうか。→「本市では、1967(昭和42)年に中部処理区が事業認可を受けて整備を開始しました。その後、1976(昭和51)年に久連処理区において事業を開始し、内浦処理区、＜中略＞整備を進めてきました。」</p> <p>②本文 2番目の段落中「＜前略＞下水道の普及率は62.9%(コミプラ等含む)であり、＜中略＞比較して低い普及率となっています。」とあります。主語「普及率は」に対して、述語でも「普及率となっています」と重複した表現となっています。述語部分の表現として、同ページ本文 3番目の段落と同様に、「普及率」ではなく「値」としてはいかががでしょうか。</p>	<p>①「事業認可を受けて整備を開始しました。その後、1976(昭和51)年に久連処理区において事業を開始し、」に修正します。</p> <p>②「低い値と」に修正します。</p>	有

7	19	<p>①本文 3番目の段落中「マンホールと管きよの接続部は、破損すると土砂流入等により、下水道の流下機能を阻害するおそれがあるため、＜以下省略＞」とあります。述語である(二重下線部)の「機能を阻害する」に対応する主語が、この書き方だと、「管きよの接続部」そのものになりかねないため、下線部の書き方を、例えば次のようにしてはいかがでしょうか→「マンホールと管きよの接続部が破損すると、土砂の流入等により下水道の流下機能を阻害するおそれがあるため、＜以下省略＞」</p> <p>②本文 下から2番目の段落中「その中でも、中部浄化プラントは、＜中略＞津波被害を最小限にすることや早期に復旧することが必要になります。」とありますが、下線部については、もう少し主体的な書き方として、「被災時に早期に復旧させる」としてはいかがでしょうか。</p> <p>③本文 1番下の段落は「被災時において、揚水機能・消毒機能については確保されるべきものとされているため、今後これらの機能の確保について検討していく必要があります。」となっています。下線部について「される」が繰り返し使用されて、くどい表現となっているので、前段部分を、例えば、「被災時においても、揚水機能・消毒機能の確保が求められているため」としてはいかがでしょうか。次に、二重下線部について、検討の内容として、「機能の確保」の何について(手段なのか、方法なのか)検討するのか、についての記載があった方がいいのではないのでしょうか。</p>	<p>①「接続部が破損すると、土砂の流入等により下水道の」に修正します。</p> <p>②「被災時に早期に復旧させる」に修正します。</p> <p>③「被災時においても、揚水機能・消毒機能の確保が求められているため、今後これらの機能の確保についての手法等を検討して」に修正します。</p>	有
8	20	<p>①本文 1番目の段落中「割合表示(○%)」が3か所(3行目4%、5行目31%、6行目62%)ありますが、次ページの「年度別管路整備延長」のグラフ中においては、いずれの割合も「約○%」という表記になっています。これらの数値に小数点以下の端数が存在するのであれば、本ページの文章中の表記も「約」があったほうがいいのではないのでしょうか。</p> <p>②本文 2番目の段落は「管路の老朽化によって管きよの閉塞や道路陥没事故の発生等が懸念されるほか、地下水の侵入等による不明水の増加も起こり得ます。」となっていますが、下線部の「増加が起こる」という表現はあまり使われなと思います。そこで、例えば、次のような書き方としてはいかがでしょうか。→「管路の老朽化による管きよの閉塞や道路陥没事故の発生等のほか、地下水の侵入等による不明水の増加も懸念されます。」</p>	<p>①「約○%」表記に修正します。</p> <p>②「道路陥没事故の発生等のほか、地下水の侵入等による不明水の増加も懸念されます。」に修正します。</p>	有
9	22	<p>2つの表中の一番右側の項目として「経過年数」がありますが、いつの時点までの経過年数なのかを明記したほうが良いと考えます(例えば、経過年数(2023(令和5)年度末時点)など)。理由としては、10年間の計画期間中において経過年数は年々積み上がっていくものであり、何年後かにこのビジョンを見る時のためにも、「時点」は明らかにしておいたほうが良いと考えます。</p>	<p>表枠外に時点表記を追記します。また、それに併せて、経過年数を修正します。</p>	有

10	22	<p>①本文中「<前略> 雨水や地下水が侵入することが主な原因になります。 <中略> マンホール蓋が浮上したりする原因にもなります。」とあり、「原因になる」という記載が2箇所あります。「原因になる」というのは、「これから発生が見込まれる事態」に係る発生要因である場合なので、後者の表記は正しいですが、前者の場合には、原因となる要素(項目)そのものを記載するものなので、「原因になります」ではなく「原因です」が正しいと考えます。</p> <p>②この「(3) 不明水対策」の項目中には、「(1) 管路施設の老朽化」や「(2) 処理場・ポンプ場の老朽化」の項目中に記載のある、「今後の方針」が示されていません。そこで、20ページの「(1)」の末尾と同様に、「したがって今後、計画的に対策を実施していく必要があります。」と記載してはいかがでしょうか。</p>	<p>①「原因です。」に修正します。</p> <p>②「そのため今後、計画的に対策を実施していく必要があります。」を追記します。</p>	有
11	23	<p>本文中 後段に「より効率の良い事業の実施を<u>目指し</u>、安定した経営を<u>目指さなければなりません</u>。」とありますが、「目指す」が繰り返し使用されていて、くどい表現となっています。そこで、次のような書き方としてはいかがでしょうか。→「さらに<u>効率の良い事業の実施により</u>、安定した経営を<u>目指さなければなりません</u>。」</p>	<p>「このような状況を踏まえ、<u>効率の良い事業の実施により</u>、安定した経営を<u>目指さなければなりません</u>。」に修正します。</p>	有
12		<p>章 とびらページに「沼津市のマンホール④」の記載がありますが、このうち、1番下から2行目に「マンホールの設置等は官民連携で実施」とありますが、「マンホールの設置等を官民連携で実施」のほうがいいのではないのでしょうか？ また、1番下の行に、「沼津駅周辺及び<u>内浦周辺の一部</u>」とありますが、「内浦周辺」だと、内浦以外(の隣接する箇所)も含んでしまうため、「<u>内浦地区の一部</u>」としたほうがいいと思います。</p>	<p>「内浦<u>地区</u>の一部」に修正します。</p>	有
13	29	<p>①本文に「基本理念である「清潔で快適な暮らしを支える下水道」を実現すべく、大別された4つの課題のそれぞれに対し、本市の現状を踏まえて4つの基本方針を設定し、それぞれについて施策と取り組みを設定します。」とあります。下線部について、「4つの課題(前ページに記載)に対し4つの基本方針を設定」するとしていますが、「課題」と「基本方針」との対応関係が記載されていないので、明記すべきと考えます。また、前ページ(28ページ)に記載している「課題の整理」を本ページの「基本方針」の項目中において記載し、併せて、基本方針との対応関係を明記したほうがいいのではないのでしょうか。原案の書き方だと、「基本理念」「課題の整理」「基本方針」の3項目が同次元で並列となっていますが、「課題の整理」(という見出し)は他2者よりは低次元に位置付けられるものだと考えます。</p> <p>②各基本方針ごとの文章の末尾の書き方として、「1」「2」が「目指します」、「3」が「努めます」となっているのに対して、「4」では「実現します」と言い切っています。高い目標設定は評価できますが、ここでは「方針」を記載するものなので、「2」と同じように、「実現を目指します」として、全体の表記の整合性を図った方がいいのではないのでしょうか。</p>	<p>①P28「課題の整理」にP29「基本方針」の対応する番号を追記します。</p> <p>②「下水道事業経営の<u>実現を目指します</u>。」に修正します。</p>	有

14	30	このページ内で、「普及率」に係る名称として、 <u>下水道普及率</u> (本文中及びグラフタイトル中)、 <u>下水道人口普及率</u> (本文中)、 <u>下水道処理人口普及率</u> (目標中)の3種類を使用していますが、表現の統一が必要ではないでしょうか(51ページ 用語の解説では「下水道人口普及率」となっています)。本ページ内だけでなく、本ビジョン全体のほかアクションプラン・経営戦略についても整合性を図られたほうが良いと考えます。ただし、「下水道普及率」の表記は、「(面積)整備率」と誤解され易いので、少なくとも「人口」を含む表現のほうが良いと考えます。	「下水道処理人口普及率」に統一します。	有
15	34	【No.7(19ページ関係)②・③と同様】 ①本文 1番目の段落中「<前略> 中部浄化プラントは、津波被害を最小限にすることや、 <u>早期に復旧することが必要です。</u> 」とありますが、下線部については、もう少し主体的な書き方として、「 <u>被災時に早期に復旧させる</u> 」としてはいかがでしょうか。 ②本文2番目の段落は「また、被災時において、揚水機能・消毒機能については <u>確保されるべきものとされているため、今後これらの機能の確保について検討していきます。</u> 」となっています。下線部について「される」が繰り返し使用されて、くどい表現となっているので、前段部分を、例えば、「被災時においても、揚水機能・消毒機能の確保が求められているため」としてはいかがでしょうか。次に、二重下線部について、検討の内容として、「機能の確保」の何について(手段なのか、方法なのか)検討するのか、についての記載があった方がよいのではないのでしょうか。	No.7と同様です。	有
16	42	⑳及び㉑の2つの取り組みについて記載するべきところですが、本文中には「取り組み㉑: 工事説明会の実施」の説明がありませんので、何らかの記載をすべきと考えます。	「工事説明会やSNS等による」に修正します。	有

17	43	<p>①本文 2番目の段落中「適切な下水道事業の運営をつうじて」とありますが、「つうじて」は「通じて」と漢字表記とほうが良いと考えます。</p> <p>②本文 3番目の段落中「より良い市民サービスを<u>図る</u>目的として」とありますが、下線部は「<u>図ることを目的として</u>」としたほうが良いと考えます。理由としては、「目的」は何かというと、「より良い市民サービスを<u>図る</u>」ことであり、原案の書き方だと、「目的として」の後に、目的を記載するような形になってしまうからです。</p> <p>③本文 4番目の段落中「<u>このシステムは</u>、下水道台帳、＜中略＞総合的なシステムとなっており、＜中略＞緊急通報箇所の把握等を支援しています。」とありますが、システムが各種業務そのものを支援しているわけではないので、述語部分は、「に役立っています」や「に貢献しています」のような書き方のほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>④本文 最後の段落中「今後もこの<u>システムを活用</u>できるよう保守・更新に努め」とありますが、下線部については、「システムを有効に(または適切に)活用できるよう」のような書き方のほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>⑤目標の2つ目に「下水道情報管理システム 365日稼働／年」とありますが、うるう年の場合もあるので、例えば「通年稼働」のような書き方をご検討ください。</p>	<p>①「通じて」に修正します。</p> <p>②「図ることを目的として、」に修正します。</p> <p>③「把握等に活用しています。」に修正します。</p> <p>④「システムを有効に活用できるよう」に修正します。</p> <p>⑤「通年稼働」に修正します。</p>	有
18		<p>箇所図右下の枠内注釈部分 下の行ですが、「※ 戸田地域の下水道施設は全て耐震化されています。」とありますが、下線部は「<u>戸田地区</u>」のほうが良いのではないのでしょうか(第2章 表紙のマンホールの説明でも「戸田地区」となっています)。</p>	「戸田地区」に修正します。	有
19	50	<p>解説で「全人口に対して、下水道や浄化槽等の汚水処理システムを利用している人々の割合を示す指標のこと。」とありますが、下線部は「<u>人々</u>」ではなく、「<u>人口</u>」のほうが良いのではないのでしょうか。</p>	「人口」に修正します。	有
20	51	<p>解説中「異なる会計間で移動させた資金のこと」とありますが、下線部は「<u>移動させる</u>」のほうが良いと考えます(同項目中後段の説明で、「一般会計から<u>移動させる</u>資金は一般会計繰入金と呼ぶ」となっています)。</p>	「異なる会計間で移動させた資金のこと。例えば、 一般会計から企業会計である下水道事業会計に繰り入れるもの。 」に修正します。	有
21	51	<p>解説中「沼津市の下水道条例では公共下水道の構造の技術上の基準、終末処理場の維持管理並びに都市下水路の構造及び維持管理の技術上の基準を定めている。」とありますが、これらの内容を定めているのは、「(沼津市)下水道条例」ではなく、別の「沼津市公共下水道の構造の技術上の基準等を定める条例」です。この用語解説において、ここで列挙している内容を提示したいのであれば、条例の名称を修正する必要があります。逆に、「(沼津市)下水道条例」の説明をしたいのであれば、本項目の内容を修正する必要があります。</p>	「沼津市の下水道に関する条例では」に修正します。	有

22	51	解説で「全人口に対して、下水道を利用している人々の割合を示す指標のこと。」とありますが、下線部について、まず「人々」ではなく、「人口」のほうがいいのではないのでしょうか。また、「利用している」ではなく、「利用できる」としたほうがいいと考えます(利用できるにも関わらず、水洗化していない人もいるからです)。	「利用できる人口」に修正します。	有
23	51	解説中「汚水と雨水を同時に整備できる」とありますが、汚水・雨水は整備するものではないので、「整備」ではなく「処理」としてはいかがでしょうか。	「汚水管と雨水管」に修正します。	有
24	52	解説中「沈砂池で除去されなかった」とありますが、下線部の「沈砂池」に係る用語説明が53ページにあるので、この箇所での表記は「【沈砂池】で除去されなかった」と表記したほうがいいのではないのでしょうか。	「【沈砂池】」に修正します。	有
25	52	解説で「<前略> 利用者と未利用者間で負担の公平性を確保するため、<中略> 負担を負うべきであるとする考えのこと。」とあります。まず、下線部「間で」については、「間での」または「間における」のほうが、また、二重下線部「考え」については、「考え方」のほうがいいのではないのでしょうか。	「間における」「考え方」に修正します。	有
26	52	解説中「今後 10年程度(～令和6年)」とあります。まず、今後の後が空白(ブランク)となっているので、文字を前詰めする必要があります。次に策定の時点(平成26年策定)を明記したほうがいいと考えます(次の「新下水道ビジョン加速戦略」と同様に)。	空白を削除し、策定年次を追記します。	有
27	52	解説中「国が選択と集中により5年程度で実施すべき施策をとりまとめて2017(平成29)年に策定されたもの」とありますが、下線部について、「国が」を受ける述語なので、「策定した」のほうがいいのではないのでしょうか。	「策定したもの」に修正します。	有
28	53	解説で「浄化槽における処理方式の一つ。下水に空気を吹き込み、接触材に付着させた微生物の働きで浄化する。」とありますが、浄化槽の処理方式ならば、下線部の「下水」は、「汚水」のほうがいいのではないのでしょうか。	「汚水」に修正します。	有
29	53	解説中「地方公営企業の経営に対し、地方自治法、地方財政法及び地方公務員法の特例を定めたものが地方公営企業法である」とあります。まず、下線部の「に対し」は、法第6条の規定どおり「に関して」のほうがいいと考えます。次に、二重下線部ですが、地方公営企業法は、この三法の特例だけを定めたものではなく、法適用関係においても、第39条で他の法律(地方公務員の育児休業等に関する法律など)の適用除外の規定もあるので、「特例などを定めたもの」としたほうがいいのではないのでしょうか。	「経営に関して、」「特例などを」に修正します。	有

30	53	(No.28と同様)解説中「浄化槽における下水処理方式の一つ。」とありますが、浄化槽の処理方式ならば、下線部の「下水」は、「汚水」のほうがいいのではないのでしょうか。	「汚水」に修正します。	有
31	54	解説中「「沼津市下水道ビジョン2025-2034」はその要旨を引き継いでいる。」とありますが、引き継ぐとした場合、要旨(主要な点、内容のあらまし)よりも、もっと上位の「理念」などの用語のほうがいいのではないのでしょうか。	「理念」に修正します。	有
32	54	解説で「処理場における下水処理方式の一つ。処理効率が高く、日本では最も多く用いられている。」とありますが、処理方法そのものは説明されていません。(簡単でいいので)具体的な処理方法を記載したほうがいいのではないのでしょうか。	「処理場における微生物の働きにより汚水を浄化する下水処理方法の一つ。」に修正します。	有
33	55	解説で「自治体の事業をサポートするために必要な事業費の一部について国から給付される資金のこと。」とあります。下水道事業に限定せずに、広く「補助金」について説明しているので、地方自治体への補助金としては国だけでなく県からのものもあるので、下線部は「国・県から」のほうがいいのではないのでしょうか。	「国等から」に修正します。	有
34	55	解説中「管きよの埋設深さが著しく深い場合等」とありますが、下線部について、「深さが深い」というのは少しくどいと思います。「深さ」を省略して「管きよの埋設が著しく深い場合等」としてもいいのではないのでしょうか。	「管きよの埋設が著しく深い場合等」に修正します。	有
35	55	解説で「下水道広報プラットフォーム(事務局:公益社団法人日本下水道協会)が、下水道広報の一環として制作したカード型パンフレットのこと。」とありますが、下線部の書き方として、「制作し、各地方公共団体が配布している」としてはいかがでしょうか。	「制作し、各地方公共団体等が配布しているカード型」に修正します。	有

以下アクションプログラムに対する意見

36	①	下水道ビジョンへの意見No.14に記載のとおり、(成果目標欄に記載の)「下水道処理人口普及率」の表記については、ビジョン・経営戦略の全体を通して整合性を図られたい。	「下水道処理人口普及率」に統一します。	有
37	⑤	成果指標として「計画策定」とありますが、ビジョン32ページでは、目標として「新たな管路耐震化計画の策定・実施」となっているので、このアクションプログラムの成果指標でも、「計画策定・実施」と記載したほうがいいのではないですか。	「計画策定・実施」に修正します。	有
38	⑦	成果指標として「計画策定」とありますが、ビジョン33ページでは、目標として「新たな処理場等の耐震化計画の策定・実施」となっているので、このアクションプログラムの成果指標でも、「計画策定・実施」と記載したほうがいいのではないですか。	「計画策定・実施」に修正します。	有
39	⑩	まず、成果指標として「計画策定」とありますが、ビジョン34ページでは、目標として「中部浄化プラント耐水化計画の策定・実施」となっているので、このアクションプログラムの成果指標でも、「計画策定・実施」と記載したほうがいいのではないですか。次に、取組方針として「<前略>耐震化計画踏まえ、計画策定する」とありますが、下線部は、取組項目⑤・⑦と同様に「計画を策定し対策を実施する」と記載したほうがいいのではないですか。	「計画策定・実施」「計画を策定し対策を実施する。」に修正します。	有
40	⑮	成果指標として「計画策定」とありますが、ビジョン37ページでは、目標として「新たな管路施設の長寿命化計画の策定・実施」となっているので、このアクションプログラムの成果指標でも、「計画策定・実施」と記載したほうがいいのではないですか。	「計画策定・実施」に修正します。	有
41	⑳	成果指標として「計画策定」とありますが、ビジョン39ページでは、目標として「新たな処理場等のストックマネジメント計画の策定・実施」となっているので、このアクションプログラムの成果指標でも、「計画策定・実施」と記載したほうがいいのではないですか。	「計画策定・実施」に修正します。	有
42	㉑	取組方針中「処理施設を正常に機能するために」とありますが、下線部は「機能させる」のほうがいいのではないですか。	「機能させるために」に修正します。	有

43	②②	成果指標として「 <u>導入検討</u> 」とありますが、ビジョン39ページでは、目標として「 <u>新たな官民連携方式の検討完了・実施</u> 」となっているので、このアクションプログラムの成果指標でも、「 <u>導入検討・実施</u> 」と記載したほうがいいのではないですか。	「 <u>導入検討・実施</u> 」に修正します。	有
44	②③	取組方針中「 <u>水洗化数の向上を図る</u> 」とありますが、下線部は「 <u>水洗化率</u> 」に修正したほうがいいと考えます。	「 <u>水洗化率</u> 」に修正します。	有
45	②⑦	現況値として「12回以上」とありますが、現況値なので実数を記載するのではないのでしょうか(例:○回(R5年度)など)	過去5年間の取組期間中、すべての年度で12回以上となっていることを表しているため、この表記としています。	無
46	③①	「現況値」「目標値(前記・後期)」として「365日」となっていますが、「下水道ビジョンへの意見No.17⑤」に記載のとおり、うるう年の場合もあるので、例えば「 <u>通年稼働</u> 」のような書き方をご検討ください。	「 <u>通年稼働</u> 」に修正します。	有